



あき

しあわせを咲かせて生きる。

s a t s u k i

2016年5月
Vol.83

特集

平成28年度 さつき会経営(事業)計画



平成28年度 経営(事業)計画 (第43期)



◆平成28年度 全事業所職場目標

『まず、やってみる』

全職員が「まず、やってみる」を合い言葉に、個々の成長・成熟とチームの結束を強め、より良い「施設づくり・地域づくり・職場づくり」を実践する。

1. できることから“やってみる”

人間は顔が違うように、できることもそれぞれ違います。そのできる力を早く探すひとつの方法が、「できることをする」ということです。まず自分には何ができるかを考えて行動する。

2. 素直に“やってみる”

素直な人は、成功者に学び、謙虚に「まず、やってみます」と行動する。素直でない人は、行動する前に良いか悪いかを考え、不安や猜疑心などにより行動が鈍る。行動して失敗することもあるが、行動したからこそ良かったか悪かったかが判断できる。素直にやってみることが成長の近道と考え行動する。

3. 失敗をおそれず“やってみる”

たとえ失敗や困難が訪れても、「ピンチが『成長』のチャンス」と考えて、「まず、やってみる」。最初はうまくいかなくても、あきらめずに続けることで習慣化され、「できた」が増えていく。自信とは「できた」の集積であり、自らの達成感ややりがいを得るためにプラス思考で行動する。



◆平成28年度 事業活動のポイント

(1) 安心住まいの整備と住民参加による元気創り・生涯活躍の場づくりを支援する。

① 新たなニーズに応えるための社会福祉事業・地域貢献事業の開発・実施

要支援・軽度の要介護者が、必要な在宅サービスを利用し、可能なかぎり鷹栖町で自立した生活が営めるよう(仮称)地域密着多機能型サービス付き高齢者向け住宅の整備を行政・地域住民との連携・協同の下に計画・建設に着手する。

② 災害に強い施設づくりと施設環境改善計画の策定

施設が最後まで人生を楽しく豊かに暮らせる場となるために、施設設備や環境のプライバシー・快適性・安全性・居住性を十分配慮し、定期的なチェックとメンテナンスを遂行するとともに、中期経営3か年計画に基づいた災害対策と施設環境改善を実施する。

③ 職員の地域活動の推進

鷹栖町内で高齢者介護に関わる情報と知識・技術を一番持っている強みを生かし、職員が地域へ外向き介護講座やサロン(地域の茶の間)の開催や、地域の集会などへ積極的に参加することで地域との交流を図る。その活動により地域住民に高齢者介護についての理解を深めていただくと共に、職員自身が地域を知り地域を学び安心できる地域づくりの貢献を図る。

④ ボランティア・地域住民と協働した活動

施設のマンパワーだけで利用者の暮らしを豊かにする、災害時の安全を守ることは困難を要するため、地域住民やボランティアを利用者のQOL向上(生活の質向上)を図るための「協力者」として、更なる意見・協力を得て共に活動する。

(2) 在宅生活の継続のため、在宅系サービスの全事業所にトータルケアシステムを導入し、的確なケアマネジメントと在宅サービスを提供する。

① 中重度者に対する良質高度なケアとマネジメントの提供

施設・在宅を問わず中重度化・重症化リスクのある人に対して、状態悪化を早期に発見し、適切な介護・看護・栄養のトータルケアシステムを導入する。それに基づき分析、対応することにより重症化予防や入院者を減らし、できるだけ最期まで鷹栖町内で穏やかで笑顔のある暮らしをつくりだすケアを提供する。

② 小規模多機能ホーム(二か所)・デイセンター・ヘルパーステーション・ショートステイ・居宅介護支援事業所の運営改善の強化・推進

「自宅が一番」という高齢者・家族の願いに応えるために、小規模多機能ホーム・デイセンター・ヘルパーステーション・ショートステイ・居宅介護支援事業所のケア・ケアマネジメントの質向上と連携を強化する。事業所間がより緊密な連携を図りながら、状態変化後の迅速なケースカンファレンス、退院支援コーディネート、医療機関と連携強化を図り在宅生活の維持及び退院後のスムーズな対応を図る。

また、各事業所が、新規利用者獲得のための町内外の地域機関・医療機関への営業・PR活動を拡充し、わかりやすい情報発信と人的ネットワークを築きながら、ニーズを発掘し、サービス提供に結びつける。

(3) 中重度要介護者の自立生活とQOL向上を目指し、多職種協同による根拠に基づいた専門的なケアを提供する。

① 美味しく安全な食事の提供

自立度の高い方から嚥下・摂食障害のある方まで、「より美味しく、より楽しく、より安全に食べることを実現するため、介護・看護・栄養・調理員、委託業者が一体的になり食事提供体制・栄養管理体制の見直しと改善を図る。

② 専門職として、一人ひとりが介護過程を展開する

利用者一人ひとりの個性に注目し、身体状況(健康状態)、心理状態、社会的側面を総合的に判断して、どうすれば利用者の「自立とQOL向上」が図られるかを根拠(なぜそうするのか、その理由を説明できること)に基づいて実践・評価する。

さつき会の基本理念である、「自立支援介護」と「最後まで尊厳を守る介護」の具現化を目指し、ケアに従事する全ての専門職が介護過程を意図的・計画的に実践し、より専門性の高いケアを提供する。

(4) 真の優しさと専門性を備えた職員育成とチーム力(人間関係、相互協力、目標共有など)の向上を支援する。

① マナー(思いやり)の向上

職業倫理は私たちプロが絶対に守らなければならないものである。日々、モラル・マナーを意識し、その延長線上にある、法令遵守と利用者の尊厳を守るケアに努める。特に、1)抑制(言葉・薬・物理的・肉体的)・拘束・虐待・根拠のない不適切なケアを廃止すること、2)言葉づかい(利用者に対して「敬語」を使うこと)、3)態度・表情(職場内では「明るく笑顔で仕事すること」、4)身だしなみ(清潔で不快感を与えない服装・頭髪・身なり)を徹底し、職員一人ひとりが思いやりの心を体現する。

② 基本理念の浸透・共有・共感

職員一人ひとりの価値基準と方向性を一つにするよう、研修・会議等の機会を通じて、「理念とは何か」「なぜ理念が必要か」「さつき会が目指す福祉の仕事とは何か」について、リーダー以上の職員が日頃から明確に語れるように努める。

事業所単位では、理念を日々の仕事に生かすために、毎日の朝礼、月例会議等において共有・浸透させるための工夫・改善を図る。

③ リーダーシップを適切に発揮できるリーダーの育成

リーダーが、明確にチームの目標を明示し、その実現のために職員同士の心と心を通い合わせ、人と人を結びつけ、業務と人間関係の改善を図り、チームワークを築き向上させていけるよう、リーダー以上を対象とする「リーダー研修会」を企画・実施し育成する。

④ 専門職として、主体性を持ち継続学習に努める。

専門職とは、専門的な知識・技術・考え方(理念・介護観)を人に伝えられる人である。学びの基本は自学自習・自修自得であることを踏まえ、一人ひとりが自分の将来像を明確にし、そのために必要な「知識・技術・価値観」を習得・形成する。

また、新しい知識・技術を習得し、短時間でも効果のある機能回復訓練・アクティビティ等を取り入れ、利用者のADL・QOL向上を図る。

⑤ 職員教育プログラムの体系化

利用者本位の福祉・介護サービスを担う人材を育成するための教育プログラムを階層別く新任職員(入社時研修・フォローアップ研修)、総合職研修、専門職研修、専任職研修、リーダー研修、管理者研修、経営職研修に体系化し、年間計画をもとに定期的な研修を実施する。

⑥ 上司と部下の共通目標の明確化

期首(年度初め)に部下と上司が面談を行い、部下の希望する目標、上司として期待する目標を相互に確認した上で、部下とともにその期の目標(①個人目標、②事業所・ユニット単位のケア目標)を設定し、部下・上司ともに成長の機会とする。平成28年度は、経営職・管理職・指導職に実施する。

⑦ 新・人事・賃金育成システムの推進と改善

さつき会のキャリアパスを有効に活用して、職種・職位毎に求められる役割・行動・成果・目標を明確にし、より多くの職員が安心と希望をもって働けるよう制度を運用する。同時に、職員の処遇改善・福利厚生の充実を図り、やりがい、働きがいの下支えとなる基盤の強化を図る。

⑧ 第6回サービス向上発表会の実施

年1回の実践発表の場を持つことで、自分たちの実践を振り返り、評価・見直し、ケア・サービスの改善にチームとして取り組むことでチームワークの向上を継続して図る。また、各事業所・係が互いの実践を共有し相互理解を深める機会とするとともに、より多くの地域関係者、養成校の教員・学生を招き、さつき会のケア・サービスの質向上の取り組みを発信する。

⑨ 入社説明会の開催

新規卒業者及び転職を検討している人を対象とした、法人独自の入社説明会を開催し、多くの方がさつき会で働きたいと思ってもらえるように、法人の強みをPRしていく。



(5) 適正利益の確保と業務効率化を図り、安定経営の基盤を整備する。

① 適正利益の確保

全事業所において収益向上、及び収支改善を図り、介護保険収入の5%を目標収支差額(29,016千円)に掲げ、その運営管理(マネジメント)をつかさどる月次業績検討会議・リーダー会議等の方法を変更・拡充する。また、常にサービス需要及び業績に見合った要員計画を検討し、職員の適正配置、事業運営の効率化等を図ることにより安定した経営基盤の構築に取り組む。

② 法人・施設運営の事務業務の再編と改善

重要な法人経営に関わる財務管理・組織管理・事業管理全般にわたる業務が滞ることのないように、分担と協同、再編と改善を行い、円滑かつ効率的に業務が完遂できるようにする。

③ 第3次中期経営3か年計画の推進

いかなる環境下においても、全ての事業所において良質高度なケア・サービスの提供体制と適正利益を確保し続けられる安定経営の実現を図るため、人材育成と財政状況の改善を、第4次中期経営3か年計画に基づき、諸課題を一つずつ確実に解決・解消する。

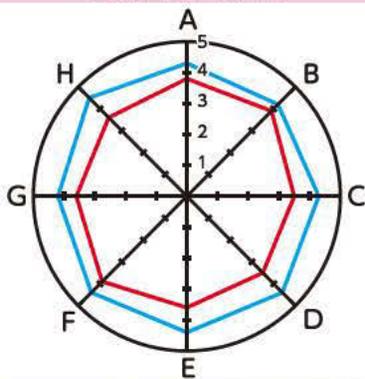
平成27年度 各施設満足度調査の結果(8施設)



パレットヒルズに咲く桜

特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑

ご利用者アンケート 各項目5段階評価



— ご入居者 回答数23人
— ご家族 回答数34人

【アンケート内容】

- A. 食事ケア
- B. 入浴ケア・清潔感
- C. 排泄ケア
- D. 環境・雰囲気
- E. 行事・地域交流
- F. 言葉づかい・態度
- G. 相談のしやすさ
- H. 満足度

【満足度調査集計結果の総評】

ご入居者の調査は23名(全入居者の46%)の方にご協力を頂くことができました。

いずれの項目においても、「満足」「おおむね満足」と回答いただいた方が半数以上でした。次に、ご家族による満足度調査については34家族の方より回答をいただきました。

「面会に行くたびに笑顔が増えてとても嬉しい」などご意見も頂き、7~8割が「満足・おおむね満足」の回答をいただきました。

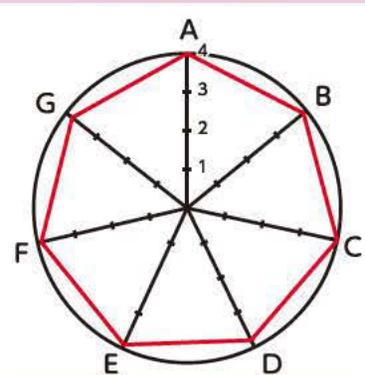
しかし、掲載できませんでしたが「利用者本位」の項目については「ふつう」という回答も3割あり、「接遇」の項目については「やや不満」「不満」という回答もありました。ご家族へ細やかな情報提供を行い、相談しやすい雰囲気作りに努めていきます。

ご入居者の暮らしやすさ、さつき苑のケアサービス、環境などを客観的に評価していただける大変貴重な機会となりました。ご入居者、ご家族にとって安心してご利用いただける施設になるよう、今後も努めていきます。

生活福祉課主任 谷口尚弘

鷹栖町ヘルパーステーション さつき苑

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



— ご利用者 回答数34人

【アンケート内容】

- A. 決められたサービスの提供
- B. 礼儀・態度
- C. 身だしなみ
- D. 契約時の事前説明
- E. 安心できるサービスの提供
- F. 計画通りのサービスの提供
- G. 苦情や要望への対応

【満足度調査集計結果の総評】

前年度と比べて「決められたサービスの提供」「身だしなみ」「安心できるサービスの提供」でより高い評価をいただいています。

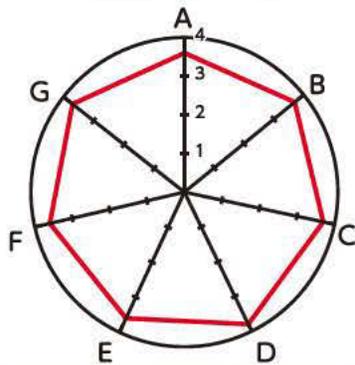
礼儀・態度の項目で「やや不満」の回答があり、「ヘルパーによってやり方がちがう」という意見をいただきました。統一したサービスの提供ができるよう手順書の見直し・ヘルパー研修での事例検討などを早急に行い、どのヘルパーが訪問しても同じように満足していただけるよう改善を図っていきます。

今回も多くの貴重な意見をいただきましたので、今後も職員一丸となってサービスの向上に努めていきたいと思っております。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

ホームヘルパー 伊藤尚子

介護センター さつき苑

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



—ご利用者 回答数80人

【アンケート内容】

- A. 介護保険や手続きなどの説明
- B. サービス情報の提供
- C. 意見が取り入れられたケアプランの作成
- D. ケアマネジャーは相談しやすいか
- E. 相談することで不安など減少したか
- F. 要望など満足への対応
- G. 服装・態度・言葉遣い

【満足度調査集計結果の総評】

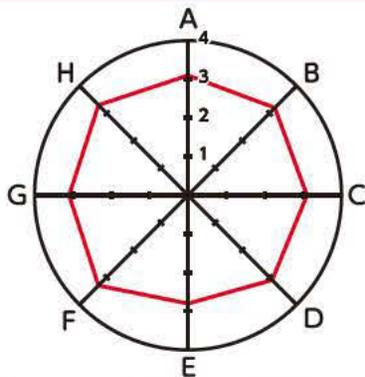
全体を通しては満足・普通との声を多く頂きましたが、やや不満・不満と大変貴重なご意見を頂いておりますので、次年度に向けて改善が図れるようにより一層の努力をしていきたいと思っております。調査にご協力頂き誠にありがとうございました。

公的な制度は年々複雑化している為、居宅介護支援事業所でも最新の情報を把握し、引き続き制度・ケアプラン手続き等についてご利用者・ご家族にわかりやすくお伝えできるように工夫していきたいと考えております。

管理者 佐々木 恵子

小規模多機能ホーム めくもりの家えん

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



—ご利用者 回答数14人

【アンケート内容】

- A. 送迎にともなう乗車時間
- B. 食事はゆっくり楽しめる
- C. 食事の献立に満足
- D. 食事はおいしい
- E. 入浴はゆっくり楽しめる
- F. 排泄時のプライバシーの配慮
- G. アクティビティーは楽しめている
- H. 職員の対応に満足

【満足度調査集計結果の総評】

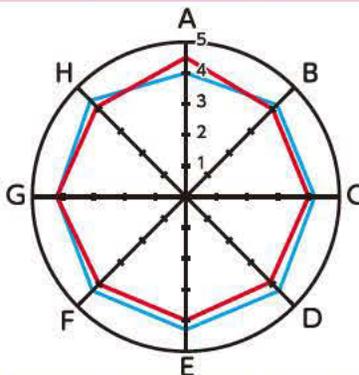
調査結果では、「送迎」「食事はおいしい」「職員の対応」などの項目について、83%以上「よい」と評価を頂きました。一方、レクリエーション全般においては、「とてもよい」「よい」は低い結果となりました。また、機能訓練向上への要望が高いこと、ご利用者様が楽しめるレクリエーションが実施できていないことがわかりました。体操や個別リハビリ・学習療法・セラバンドといった認知機能と身体機能の向上を目指して参ります。

調査結果を参考として、レクリエーション内容を検討し、計画・実施し、「ここに来て楽しい」「元気になる」と満足して頂けるよう、そして住み慣れた自宅での生活が継続できるように、サービス内容の改善に取り組んで参ります。

リーダー 津野 良江

地域密着型特別養護老人ホーム めくもりの家えん

ご利用者アンケート 各項目5段階評価



—ご入居者 回答数13人
—ご家族 回答数17人

【アンケート内容】

- A. 食事ケア
- B. 入浴ケア
- C. 排泄ケア
- D. 環境・雰囲気
- E. 行事・地域交流
- F. 言葉づかい・態度
- G. 相談のしやすさ
- H. 満足度

【満足度調査集計結果の総評】

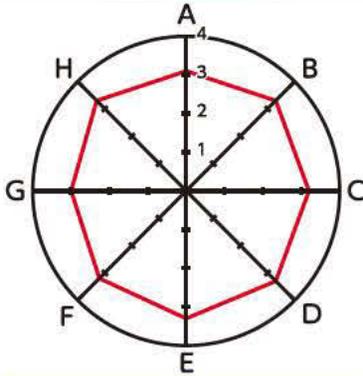
今年度はご利用者13名、ご家族17名が調査にご協力頂きました。結果としましてはご利用者は7割、ご家族は9割という結果です。ご利用者は、環境・行事などの項目、ご家族にとっては食事・入浴・排泄ケアが平均よりも低い結果となっております。

ご家族からは励ましの言葉や改善して欲しい点のご意見も頂戴しておりますので、この結果を踏まえ平成28年度においてもよりよいケアを目指し、ご家族と協力の下改善を図っていきたく思います。ありがとうございました。

地域密着型サービス事業部
部長 谷本政美

鷹栖町デイサービスセンター はぴねす

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



— ご利用者 回答数75人

【アンケート内容】

- A. 送迎の乗車時間
- B. 食事はゆっくり楽しめる
- C. 食事の献立
- D. 食事の味付け
- E. 入浴はゆっくり入れる
- F. 排泄時のプライバシー
- G. レクリエーションは楽しめている
- H. 職員の対応に満足

【満足度調査集計結果の総評】

今回のご利用者の回答で全体の平均として、83.7%の方が「よい」と回答しており、サービス項目では「食事」・「入浴」については、特に高い評価をいただきました。

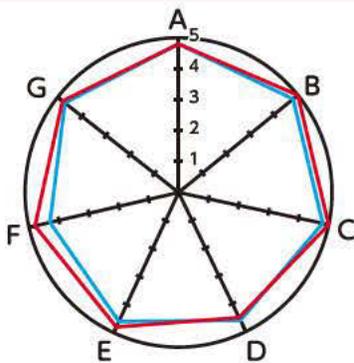
項目には表せませんでしたが、「よくない」の上位項目としては、「体操により身体機能の向上に繋がっている」・「デイサービスを利用して友人・知人が増えた」24.0%で、昨年度の「よくない」の項目と同様の評価でした。

今後も、ご利用者の生活機能向上に向け、体調を十分に把握し身体機能の維持・向上が図れるよう、充実した内容を検討し、取り組めるよう努めていきたいと思っております。

ケアスタッフ 佐藤雪菜

多機能型グループホーム 鷹栖なごみの家

ご利用者アンケート 各項目5段階評価



— ご利用者 回答数6人
— ご家族 回答数17人

【アンケート内容】

- A. 食事の提供状況について
- B. 入浴ケアの提供状況について
- C. 排泄ケアの提供状況について
- D. 行事の状況について
- E. 生活環境について
- F. 職員の言葉づかい・対応について
- G. 職員に対する相談のしやすさについて
- A. 生活環境について
- B. スタッフの介護について
- C. スタッフの言葉づかいについて
- D. 面会時の本人の様子
- E. 相談のしやすさ
- F. 料金の妥当性
- G. 広報誌を見ているか

【満足度調査集計結果の総評】

ご入居者様のアンケートについては、介護度が重度化したことにより、今年度ご協力頂いた方は6名と全入居者様のご意見を伺うことはできませんでした。「入浴」「排泄」「職員の対応」の項目では、協力頂いた方全員より「とても満足」との回答を頂きました。

ご家族からは、17名の方より回答頂き「満足」との回答を多く頂きました。面会時、ご入居者様の笑顔や穏やかな表情を見られ、安心された等のご意見も多く頂き、大変うれしく感じます。

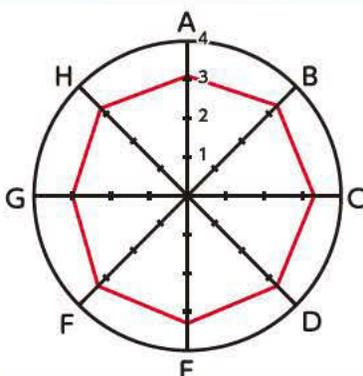
自分たちの知識や技術の不足さをまだまだ感じ、向上したいと思っています。

皆様から頂いた大変貴重なご意見を参考とさせて頂き、自らのサービス内容・業務態度の見直しを行い、サービスの質の向上にさらに努めていきたいと思っております。

管理者 秋保友美

小規模多機能ホーム 鷹栖なごみの家

ご利用者アンケート 各項目4段階評価



— ご利用者 回答数19人

【アンケート内容】

- A. 送迎にともなう乗車時間
- B. 食事はゆっくり楽しめる
- C. 食事の献立に満足
- D. 食事はおいしい
- E. 入浴はゆっくり楽しめる
- F. 排泄時のプライバシーの配慮
- G. レクリエーションは楽しめている
- H. 職員の対応に満足

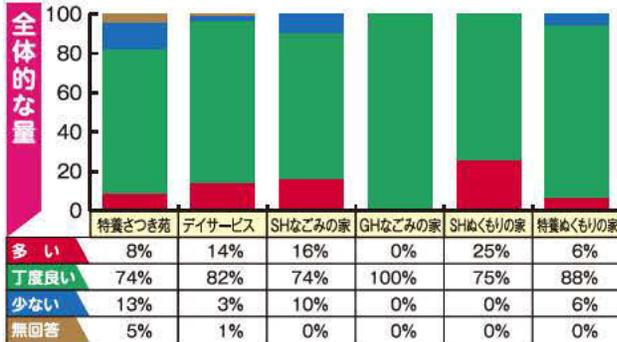
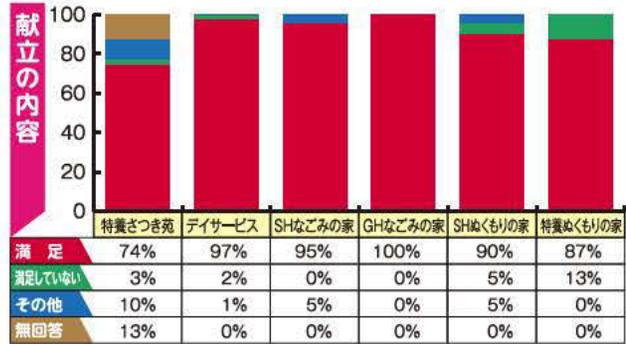
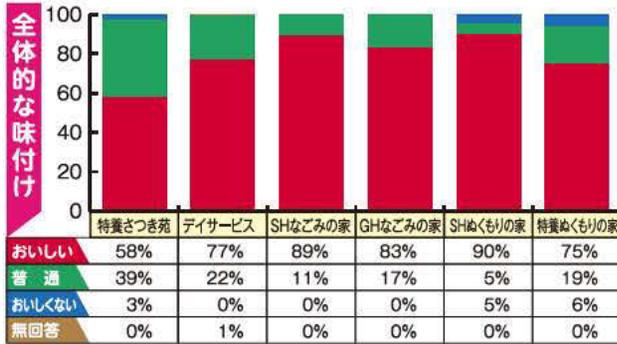
【満足度調査集計結果の総評】

今回の調査では、前年同様「食事」「入浴」「排泄」などのサービス項目の中の1つで「満足(とても満足・まあ満足)」という高い評価を頂きました。一方、自由記述のご意見の中には、「頼んでもすぐに対応してくれないことがある。」などのご意見がありました。「レクリエーション」の項目では、約3割の方から「不満(やや不満・とても不満)」との回答がありました。ご利用者様の体調管理を十分に行い、生活機能向上に向けた取り組みを強化していくことが今後の課題となりました。

個別の意見では、「レクリエーションなど遊ぶことが多い方が良い」との御意見もありました。「魅力のある充実したレクリエーション」の取り組みが不十分であったことを再確認し、計画・取り組みの改善を図ってきたいと思っております。

主任 林崎 美紀

平成27年度 さつき会食事サービス満足度調査結果報告



特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑 入居者数50名 うち回答者 計38名
 デイサービスはびねす 利用者数97名 うち回答者 計74名
 SH鷹栖なごみの家 利用者数20名 うち回答者 計19名
 GH鷹栖なごみの家 入居者数18名 うち回答者 計6名
 SHぬくもりの家えん 利用者数20名 うち回答者 計20名
 特養ぬくもりの家えん 入居者数20名 うち回答者 計16名

(SH=小規模多機能ホーム GH=グループホーム)

「食事サービス満足度調査を終えて」

今年の1月～3月にかけてご入居者・ご利用者を対象に食事サービス満足度調査を実施し、皆様から直接ご意見・ご要望をたくさんいただきました。これらの貴重なご意見等につきましては、他職種と協力して改善に努めて参ります。

- 特養さつき苑では「味噌汁がぬるい」と回答された方が昨年度に比べ、多く聞かれました。平成27年度は固いとの意見が多い肉類と葉物野菜について酵素を取り入れ、美味しく食べやすい形態で提供できるよう取り組みました。酵素導入後は「柔らかくて食べやすいよ」とのお言葉を多数頂きました。
- デイサービスでは「食事の温度がぬるい」「量が多い」などの声が聞かれました。この結果をもとに食事の盛り付け時間を見直しました。
- なごみの家では「味噌汁とおかずの温度がぬるい」「食事の量が多い」「野菜が固い」などの声が聞かれました。
- ぬくもりの家えんでも「食事の温度がぬるい」「お肉が硬い」「量が多い」「玄米ごはんが美味しくない」などの声があり、調理方法・調理時間の工夫や、食事量を個別に対応し改善して参ります。また夕食に提供している玄米ごはんについても、より食べやすくなるよう改善に努めて参ります。その他、おやつの内容について多くのご意見を頂きました。

今後も、ご入居者・ご利用者の要望や意見をお聞きしながら、できるだけ日々の献立や行事食に取り入れていきたい思います。これからも「安全でおいしい食事」の提供を目指し、心から食事を楽しんで頂けるよう一層努力して参ります。

ご協力いただいた皆様には、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

管理栄養士 鈴木さゆり・己上 純子

くもん学習療法サポーターが 出来ました。笑顔で楽しく!

学習療法は、簡単な計算や読み書きの教材を通してコミュニケーションを図ることができ、認知症やその進行予防に効果があります。

さつき会では、認知症予防のため、デイサービスセンターはびねす・なごみの家・ぬくもりの家えんで、くもんの学習療法を実施しております。皆さん、毎回、楽しく実施しています。

今後も、沢山の利用者の方々に広め実施していきたいのですが、職員のみだけでは十分にできない状況がありました。

そこで、ぬくもり友の会の皆様が学習療法の研修を行い、平成28年2月末より、学習療法サポーターとして活躍して頂いています。

このことにより、より多くのご利用者に学習療法を実施できると共に、地域の皆さまとの繋がりができればと思っております。

サポーターの方々は、緊張はありながらも利用者様方との会話を楽しまれ、利用者の皆様も、いつも「楽しかった～」と話してくれています。



学習療法のサポーターの方は下記の通りです。

- 前田 和博様
- 井口 光子様
- 田中 恭子様
- 小野 ツネ子様
- 天井 清美様
- 織田 妙子様
- 坂根 玲子様
- 磯部 レツ子様
- 山崎 秀子様
- 若井 真知子様
- 宮崎 芳子様
- 菅野 設子様
- 吉田 京子様
- 三上 尋美様
- 梶村 紀枝様
- 高美 貞子様

小規模多機能ホームぬくもりの家えん
主任 能登 純子

第5回

さつき会サービス向上発表会

～思いと実践を分かち合う～

平成28年2月25日、第5回目のサービス向上発表会が開催されました。サービス向上発表会は、一年間、ケア・サービスの質向上を目指し取り組んできたことを「振り返り・まとめ・発表」と、スタッフの実践力を高めると共に、日頃現場でかいている汗を事業所・職種を越えて分かち合う会です！

今年度は、5事業所8名が発表に望みました。どの発表も「私の所でもやってみてほしい！取り入れてほしい！」と内容の充実したものとなっていました。改めてこの仕事に対するやりがいと誇りを実感でき、来年度もご利用者皆様の安心・安全な生活を支援していけるよう全職員気持ちが一つになれた素晴らしい会となりました。

審査員の厳正なる審査の結果、今年度はデイサービスセンターはびねす：「体の元気を取り戻せ！！～リハビリマシーン導入によるQOL向上への取り組み～」が、最優秀賞に輝きました☆☆☆



最優秀賞という素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。デイサービスでは、頭・体の健康の維持・向上を目標に学習療法やリハビリに力を入れて取り組んでいます。

今後も、ご利用者の新たな元気づくりにチーム一丸となって頑張っていこうと思っています。

デイサービスセンターはびねす
介護リーダー 松原
看護師 藤川

第13回

かみかわユニットケア・サテライトケア実践発表セミナー

このセミナーは、上川管内、旭川市内の良いケアを目指す有志が集まり立ち上げられた「かみかわユニットケア・サテライトケア研究会」のメンバーが、1年の取り組みを発表する研修会です！今年度は、平成28年3月2日に開催され、上川管内、旭川をはじめ、遠くは網走から総勢83名の介護職、看護師、栄養士などの参加がありました。

さつき苑からは、「明日へ繋ぐ～介護過程の展開の取り組み～」と題し、すずらんユニットリーダーの菅原が発表しました！どの施設の発表もレベルの高いもので、新しい考えや見方を発見でき、参加した職員はとても良い刺激となりました！

職員一同!!

日々、学び・反省し、ご利用者皆様の

「自立した尊厳ある、
笑顔溢れる生活」に

繋がるケア・サービスを目指して!!
日々精進していきます!!



ボランティアに
来られた
方々



平成28年2月1日
～平成28年3月31日

《鷹栖さつき苑》

- 鷹栖町内老人会様
- 銀星老人会様
- ひまわり会様
- セラビードッグあさひかわ様

《デイサービス》

- アロマセラピー様
- 鷹栖町老人会カラオケクラブ様

《なごみの家》

- 血回し様

《ぬくもりの家えん》

- シーツ交換様
- 車椅子清掃様
- 洗面台清掃様
- 紙芝居様
- 除雪様



◆ 寄贈 ◆

《鷹栖さつき苑》

- タオル1袋

鷹栖町婦人ボランティア様

《ぬくもりの家えん》

- オムツ・パット(17袋)

湯本 賢太郎様

- オムツ・パット(5袋)

前田 知様

- 雑巾(50枚)

鷹栖婦人部様

◆ お詫びと訂正 ◆

鷹栖町老人会カラオケクラブ

誤 西野 重 正 西野 重男様

下手 隆一 下出 隆一様

伊藤 政策 伊東 政策様

楨原 峰子 楨原 葦子様

鷹栖町内老人会

小高 幸江様

広報さつき会V0182において、以上の方のお名前に誤り、掲載がされておりました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。大変申し訳ありませんでした。

編集後記

だんだんと雪も溶け、春が見えてきましたね。新年度・新学期を迎え、忙しい思いをした方も多いことと思います。さつき会も新任職員を迎え、先輩職員は少し緊張しながら、新任職員は緊張に緊張を重ねているようです。先輩職員は色々とお世話くださると思いますので、安心して二日でも早く職場に慣れてほしいと思います。また、季節の変わり目ですので、体調管理に気を配りましょう。新年度もさつき会での行事や出来事を伝えていきたいと思っております。また、よろしくお願い致します。

茂田 史音香

玄米スープの作り方

作り方

- ① 玄米を洗米し30分浸水し、その後ザルに空け10分間水切りする。
 - ② 鍋に昆布と分量の水を入れて1時間漬けておく。この時、鍋A【玄米だし用】と鍋B【鰹だし用】に鍋を分けておく。
 - ③ 大根はイチヨウに切り下茹でしておく。きざみオクラは下茹でしておく。
- 【玄米だし】
- ④ オープンを190℃で予熱しておく。
 - ⑤ 天板に玄米を広げ、170℃で20分オープンで焼く。
 - ⑥ 鍋Aに⑤の玄米を入れて、水から強火で加熱し、沸騰後弱火で30分煮る。
 - ⑦ ⑥をザルで濾して玄米のスープを取り出す。濾した後の玄米は使用しない。
- 【鰹だし】
- ⑧ 鍋Bを火にかけて、沸騰した所に鰹節を入れたザルを入れてザルごと鍋に浸して鰹だしを取る。だしが取れたらザルごと取り出す。
 - ⑨ ⑧の鰹だしと⑦の玄米だしを合わせて一人200gの分量のだし汁を作る。
 - ⑩ ⑨に下茹でした大根、えび団子を入れて煮込み、火が通ったら調味料を入れて味を調える。
 - ⑪ お椀に汁と具を盛り付け、オクラとみょうがを飾って完成。
- ※時間が経つ毎にえび団子の塩分が出てくるので、塩の入れすぎには注意する。
※塩麹は半量入れ、味付けの段階では少し薄いくらいでやめておく。盛り付け直前に味を見て、残りの塩麹を調節しながら加える。



材料(一人分)出来200g

【玄米だし】	えび団子	3個
玄米	大根	20g
水	きざみオクラ	10g
昆布		
	塩麹	6g
【鰹だし】	しょうゆ	0.5g
かつお節	塩	0.1g
水		
昆布	みょうが	0.5g

北海道ごろごろ スープの作り方

作り方

- ① 手羽元をザルにあげ、沸騰した湯をかけて霜降りにする。
 - ② 霜降りした手羽元を冷水で洗う。
 - ③ 鍋に計量した水と②の手羽元、だし昆布、乾燥椎茸、塩を入れて水から中火の強で煮る。
 - ④ 沸騰してきたら弱火にし、アクを取りながら30分以上煮る。
 - ⑤ ④の間に野菜を切る。北あかり(芋)は1人2個~3個に切る。人参は輪切りに切り面取りをする。見た目が良い。玉葱は角切りに切る。また、人参のみ下茹でをする。
 - ⑥ スープのだしが取れたら、ザルにキッチンペーパーを敷きスープをこす。
 - ⑦ 北あかり(芋)は煮崩れしやすいので、別の鍋で煮て最後に1つの鍋に合わせる。(スープは被るくらいで弱火で煮る。)
 - ⑧ 鍋にオリーブオイルと玉葱、ローリエを入れしんなりするまで炒める。しんなりしてきたら人参を入れて炒め、⑥のスープを全て入れる。そこに梅干しの種と分量の半分の塩を入れて弱火でコトコト煮る。
 - ⑨ だし取りに使用した手羽元の肉を骨からはずし、肉は⑧に入れて煮る。
 - ⑩ 最後に⑦の芋を入れ、残りの塩・こしょうで味を調える。
 - ⑪ 盛り付け後、刻んだパセリを飾り完成。
- ※煮込むほど野菜の甘みが出るので、出来るだけ弱火でコトコト煮る。

材料(一人分)

北あかり(芋)	60g	手羽元	1人1本
人参	20g	塩	0.5g
梅干しの種	10人分で3個	だし昆布	0.1g
塩	0.8g	乾燥椎茸	0.5g
こしょう	0.1g	水	200g
		パセリ	適量
玉葱	30g		
ローリエ	1鍋1枚		
オリーブオイル	3g		



◆ ホームページもご覧ください。◆

さつき会

検索



<http://www.satsuki-kai.jp>

◆ ブログも更新 ◆

さつき会ブログ

検索



http://blog.livedoor.jp/satsuki_kai/

特別養護老人ホーム・デイサービスセンター
ヘルパーステーション・居宅介護支援事業

鷹栖さつき苑

〒071-1201 鷹栖町南1条3丁目2番7号
TEL(0166)87-3321

多機能型グループホーム
小規模多機能ホーム

鷹栖なごみの家

〒071-1201 鷹栖町南1条1丁目1番20号
TEL(0166)59-3321

地域密着型特別養護老人ホーム・小規模多機能ホーム
地域交流スペースふれあい茶ろく てくてく

ぬくもりの家えん

〒071-1249 鷹栖町9線4号5番地
TEL(0166)87-5824

発行責任者 波瀾 幸敏